

お天道様が、お前のミッションはこうだ、それを果たせと。その代わりおまえにこれだけの能力を与えると。だから能力と富をいただいた人は、それを世の中にお返しする意識を持っているわけです。

—— そういうキリスト教的精神ですが、社会の中の自分の位置付けという意識は、本来、日本にもあるんですね。それを戦後六十年失っているような気がします。

岡本 基本的に気付きの問題だと思えます。自分自身でどう気付くかということです。

私も海外に結構長く、ニューヨークに十一年、サンパウロに二年いましたが、すごく印象を強く持ったのは、プロとしての生き様、格好良さみたいなものですね。

八〇年代中頃ぐらいの日本のマーケットでは本当に原始時代みたいな証券分析をやっていたので、そういったものに少し先進的なものを入れて、それなりに喜ばれ、パブルを迎える

ところまでやっていたんです。

九〇年代から年金運用に入っ
て気付いたのは、日本の年金は
みんな系列や持ち合いの関係で
信託や生命保険、投資顧問会社
に預けてお任せでやっていたの
です。それが海外と全然違って
いる。

でもこれはきつと変わるとい
う確信がありましたから、その
とき自分で気付いたミッション
は、やっぱり海外と日本とのギ
ャップを縮めることではないか

など。

それで、年金の世界で学んだ
ことをどう個人の世界に翻訳し
て伝えていくか。そこに自分の
仕事を置いたらいいのではない
かなと思ったのです。

まず経済的自立を果たすこと
が最低限、生活の基盤で必要で
すが、それがある程度できたら、
どうお金を使ってもいいわけ
です。人生の目的は別に「お金持ち」
になることではなくて、「幸せ
持ち」になることですから。

だから投資というのは、考え
ていくと、やっぱりほんとに人
生に向き合うことだなと思いま
すね。どういう生き様で行くの
か。自分に与えられた時間をど
う投資していくか。

「青臭い」と言う方が 良い結果が出る

—— 投資にも人生の基本ス
タンスが出てくるわけですね。

澤上 もう投資対象を選ん
で、これは初めから自分に縁が
ないと。自分の美意識にもとる。

だから今、岡本さんが言った
とおりで、意識すればするほど
どんどん青臭くなるんですよ。

「青臭いこと言って」と、どう
のこうの言うけど、逆に投資が
おもしろいのは、われわれ結果
の世界で生きていくでしょ。

結果が出ればいいわけです
よ。そうすると美意識、あるい
は自分、あるいは世の中を意識
しながらやると、結果的には良
い数字が出ちゃうんですね。

—— 美意識を持っていたほ
うがいい結果が出る？



おかもと かずひさ

米国コロンビア大学留学後、71年慶応義塾大学経済学部卒業。日興証券入社。ニューヨーク現地法人、情報部などを経て、92年パークレイズ・グローバル・インベストメント・ジャパンの前身会社を設立、社長に就任。2005年11月Oウェルネス・アドバイザーズを設立、社長に就任。